

瓦の歴史あれやこれや

会長コラム

なぜ孫七瓦なの

(第十回 最終回)

前回のコラムで述べましたように研究者の皆様方のおかげで「瓦七」や「瓦孫七」の屋号名の入った鬼瓦が沢山の社寺から見つかっております。



1307 清水18A 型印五七・A 押
り(瓦) 大塚6年銘の鬼瓦(白土瓦)
1 型印が逆上り(印)

各社寺の改築又は屋根改修工事を承った際に「会社で展示してもらえぬのなら」とご寄贈頂いた鬼瓦も沢山ございます。ご寄贈瓦の例ですが、信貴山某寺院の末寺の改築工事において、その当時屋根に載っていた鬼瓦【稚児鬼・二の鬼】は(17世紀中頃から18世紀頃の製造と言われております)それ以外にも、寛政3年(1792年)文化3年(1806年)文化12年(1815年)文政元年(1818年)等々、14〜15個の鬼面鬼瓦を保管しております。

また、大阪府柏原市の光徳寺本堂改修工事の際に頂いた留蓋瓦(唐獅子)は誠に見事な出来栄で、(1818年)寅九月と他に和品神瓦七のへら書きがあります。

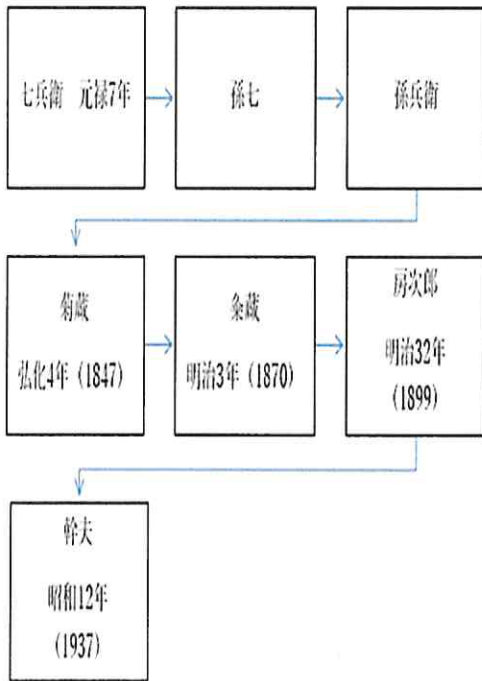


清水家の家系図を過去帳に基づいて述べさせて頂きますと、下図のようになります。(孫七に關しましては戸籍を確認しましたところ70年近く続いております。名前を襲名したと思われませう)このようにご先祖様が残してくれた有形・無形の宝物を私達は大切に保管して後世に伝えていく義務があると私は思っております。

最後になります皆様へ古代の天平瓦を紹介させて頂きます。孫七瓦が屋根の葺き替え工事や修理をさせて頂いた、奈良市の安達美智子様が保有されていたものです。



大変貴重な瓦ですが、孫七瓦の会社で展示しておいて下さいとのことですので、皆様に報告を兼ねて載せさせて頂きました。安達様、本当にありがとうございました。ご愛読くださいます。長らくご愛読くださいました。誠に有難うございました。厚く御礼申し上げます。



清水家(孫七瓦工房)の家系図

孫七瓦工業株式会社の
経営理念 II 目的理念

私たちは、日本建築の文化の継承と、伝統を活かした技術革新を通じて社会に貢献します。

行動理念

一、私たちは、安全で安心できる快適な住まいのある暮らしを提供します。(科学性)

一、私たちは、社会に信頼される会社となり、地域社会の発展に貢献します。(社会性)

一、私たちは、共に学び、共に育ち、全社員の幸福を追求します。(人間性)

この経営理念は孫七瓦工業株式会社が継続的・計画的に社会に役立つ企業としての根本的な価値基準です。

取り上げてほしいテーマや皆様のお屋根にまつわる体験談・お勧めのカフェや奈良のお勧め情報なども随時募集しております。

まごひち瓦版は不定期発行です、バックナンバーは弊社ホームページでご覧いただけます。かわら版の送付停止をご希望の方は編集部までご連絡下さい。ご連絡と発送が前後した場合は次号より停止させて頂きます。

〒636-0143 奈良県生駒郡斑鳩町神南3-13-13 孫七瓦工業(株) まごひち瓦版編集部
☎ 0745-74-1218 HP <https://www.magohichi.com>